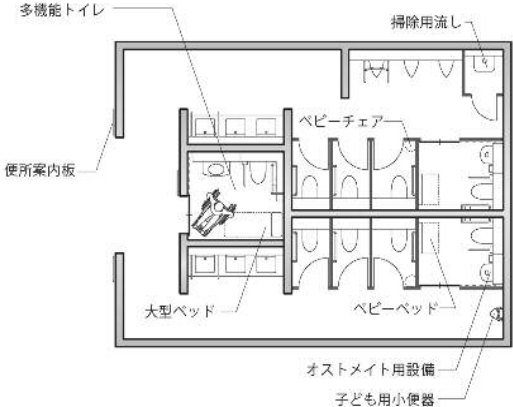
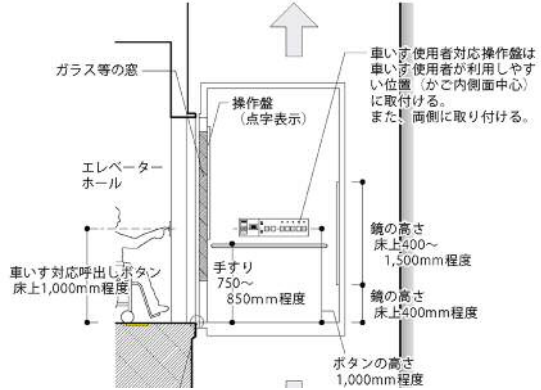


項目・基準の具体例

項目	数値基準／数値以外の基準
会場・公共交通の 出入口のドア幅	推奨基準：950mm 標準基準：大会会場は850mm 公共交通施設は900mm その他：公共交通施設では800mm ※競技用車いすを利用する選手動線は1,000mm以上
トイレ機能の 分散配置	・原則として異性の同伴者が支援可能な「男女共用の多機能トイレ」が必要。 ・多機能トイレを補完し機能を分散できるよう、男女別トイレ内に車いすスペースを確保した上でオストメイト用設備などの機能を備えた便房や、ベビーチェアなど一つの機能だけを備えた便房を組み合わせる設置することが望ましい。  (図は参考例)
競技会場の アクセシブルな 座席比率	標準基準：オリンピック大会会場は0.75% パラリンピック大会会場は1.0%～1.2% 同伴者席は同比率で横に設置 ※アクセシブルな座席は複数の位置から座席の選択が可能となるよう分散して配置することが望ましい。
サイトライン (可視線)	車いす使用者がアクセシブルな座席と前席の床の高さの差は、前席の観客が立ち上がった際にも観覧が可能となるよう、舞台やスクリーン、競技スペース等へのサイトライン（可視線）を確保したものとする。

項目	数値基準／数値以外の基準
会場・公共交通の エレベーター	<かごの大きさ> 推奨基準：幅2,100mm×奥行1,500mm又は同等水準のサイズ(24人乗り) 標準基準：幅1,700mm×奥行1,500mm又は同等水準のサイズ(17人乗り) その他：幅1,400mm×奥行1,350mm(11人乗り) <エレベーター内の手すり・操作盤・鏡の設置位置等>  (図は参考例)
情報発信 (刊行物・ 表示サイン等)	・表示サインの文字やシンボルには、背景色とのコントラストがはっきりした色彩を用いる。また、シンボルには、文字による説明が必要 ・刊行物は、視覚に障害のある人が情報にアクセスできるよう、点字、音声形式、触知可能な地図等で提供することが望ましい。 ・大会会場等では聴覚に障害のある人が情報にアクセスできるよう、字幕装置等の文字情報の提供、手話通訳の手配等ができることが望ましい。
接遇	大会スタッフやボランティアに対し、態度やコミュニケーション上のバリアが生じないようにトレーニングを実施する。 <トレーニングのテーマ(例)> 聞くとき・話しかけるとき、車いす使用者へのサポート、視覚障害者へのサポート等